

日本風力エネルギー学会 2026(令和8)年度 事業計画案

(自：2026(令和8)年4月1日 至：2027(令和9)年3月31日)

1. 全体方針

国内外の経済とエネルギー環境の急激な変化の下、再生可能エネルギーの利用の一角を担う日本風力エネルギー学会の役割は一層重要になっております。風力エネルギーが関係する領域は、従来の技術分野が主体であった時代から、環境や社会との共生、人材の育成、経済性の追求、国際関係等、広がりや深化が進んでおります。当学会はこの変化に対応するために、工夫と活動を続けてきましたが、今年度も引き続きその延長として、風力エネルギーに関する科学技術の振興と普及のための活動を展開します。あわせて来年令和9年に迎えるJWEA創立50周年記念事業の計画を進めます。

2. 総会、代表委員会、理事会の開催

- ・年数回の理事会及び代表委員会、年1回の総会を開催します。

3. 委員会等の開催

- ・年数回の委員会（企画運営、編集、学術事業、国際、広報、表彰、論文）を開催します。

4. 学会誌の発刊（第49巻）

- ・学会誌発刊予定
第1号（通巻157号）2026年5月発刊 900部
第2号（通巻158号）2026年8月発刊 900部
第3号（通巻159号）2026年11月発刊 900部
第4号（通巻160号）2027年2月発刊 900部
- ・論文集の電子ジャーナル化を検討し、読者層の拡大や知識共有の迅速化を目指します。機関誌「風力エネルギー」についても、現状の1年遅れでのJ-STAGE公開を見直し、同プラットフォームのユーザー識別機能を活用し、冊子版と同時発信する電子ジャーナル化の検討を進めます。

5. 第48回風力エネルギー利用シンポジウムの開催

主催：日本風力エネルギー学会

協賛：日本風力発電協会、日本分散型風力発電協会（五十音順）

後援：産業技術総合研究所、新エネルギー・産業技術総合開発機構、新エネルギー財団、ターボ機械協会、日本科学技術振興財団、日本風工学会、日本太陽エネルギー学会、日本電機工業会、風力発電推進市町村全国協議会（五十音順）

開催日：11月26日～11月27日

開催場所：ビジョンセンター新橋及びオンライン開催

内容：1日目は省庁からの招待講演、招待講演及び学会取組の報告およびポスター発表、2日目は一般研究発表（口頭及びポスター）を実施します。また、2日目には若手を対象にしたランチセミナーを実施します。

6. 見学会の実施

- ・本会主催の見学会を1回程度実施（秋開催を予定）する予定です。

7. 技術サポート・研究会の開催

- ・2025年3月に発刊した風力エネルギーハンドブック（第3版）の学習支援策として開設したJWEAホームページのQ&Aのプラットフォームの運営を継続します（主査：吉田茂雄氏）。
- ・風力発電の疑問50を発刊します（主査：吉田茂雄氏）。
- ・日本船舶海洋工学会（JASNAOE）と共同で実施するOffshore Wind Energy (Nielsen F.G.) の翻訳を行います（主査：吉田茂雄氏）。
- ・実施中の大型風車RNAコンポーネント研究会 その1 機械部品（主査：松信隆氏）、風車ウェイクモデリング研究会（主査：内田孝紀氏）、垂直軸型・小型風車設計技術研究会（主査：原豊氏）、風況調査技術研究会（主査：大澤輝夫氏）を遂行するとともに、新規研究会を発掘します。
- ・その他、技術講習会など、学術関連の新規活動を検討・発掘します。

8. 本会に関わる風力関連イベントへの協力

- ・2026年9月9-11日に幕張メッセで開催される第18回国際風力発電展（WIND EXPO [秋] 2026）及び2027年3月24-26日に東京ビッグサイトで開催される第19回国際風力発電展（WIND EXPO [春] 2027）に後援団体として出展します。
- ・2026年12月16-18日に東京ビッグサイトで開催される第21回再生可能エネルギー世界展示会（RE2027）に協賛団体として出展します。
- ・関連イベント

開催日程	開催場所	イベント名	関係	活動	JWEA 役員・委員の参加予定
2026年 6/4-5	甲府市	日本機械学会 第30回動力・エネルギー技術シンポジウム	協賛		
6/25-26	足利市	足利大学 第26回風力エネルギー利用総合セミナー	後援		未定
7/25-26	東京都	日本科学技術振興団体 「青少年のための科学の祭典」2026 全国大会	協力	工作	未定
8/5-7	東京都	日本エネルギー学会 第35回日本エネルギー学会大会	協賛		
9/9-11	千葉市	RX Japan 第18回国際風力発電展（WIND EXPO [秋] 2026）	後援	展示	未定
10/13-15	長崎市	日本風力発電協会 世界洋上風力サミット（Global Offshore Wind Summit-Japan 2026）	後援		
11/12-13	高松市	日本太陽エネルギー学会 2026年度日本太陽エネルギー学会研究発表会	協賛		
11/15	習志野市	日本大学 第19回風力発電コンペ（WINCOM2026）	後援	審査	未定
12/中旬	横浜市	日本風工学会 第29回風工学シンポジウム（隔年）	協賛		
12/16-18	東京都	再生可能エネルギー協議会 第21回再生可能エネルギー世界展示会& RE2026 国際会議	協賛 共催	展示	未定
2027年 3/24-26	東京都	RX Japan 第19回国際風力発電展（WIND EXPO [春] 2027）	後援	展示	未定

9. 表彰の実施

- ・本会規程に基づき功労賞、学会賞、奨励賞、論文賞、優秀発表賞、ポスター賞、優秀修士論文賞等の表彰を実施します。また、本会が後援するイベント等において、日本風力エネルギー学会長井浩記念賞の表彰を行うとともに、文部大臣表彰制度ならびに日本学術振興会における各種表彰制度等への学会推薦者の募集を行います。
- ・令和8年度総会（5月29日）において、以下の表彰を行います。
（功労賞、学会賞、奨励賞：対照なし）
論文賞：西山恒平氏ほか、宮野展宏氏ほか
優秀発表賞：清水陸氏、丸宮佳季氏、本間慶太氏、大島弘雅氏、田中燈子氏、桜井遼氏、柳尊心氏、吉水謙治氏、安江優太氏、大家菜摘氏
ポスター賞：美島咲子氏ほか（ベストポスター賞）、安江優太氏ほか、村上剛志氏ほか
出版賞：吉田茂雄氏ほか
特別表彰（風力の未来賞）：飛永育男氏
優秀修士論文賞：藤本信義氏、赤井玲奈氏、馬場先貴紀氏

10. 学会誌、論文集、予稿集をJ-STAGEに掲載

- ・学会誌及び論文集、シンポジウム予稿集の電子化とJ-STAGEでの定期的な公開を通じて、本会のプレゼンスを向上するとともに、会員の記事や論文を広く公開することにより、引用数の増加及び業績評価にも貢献します。

11. 論文集の充実

- ・引き続き、学会論文のオープンアクセス化に対する対応を行います。DOAJ への登録申請に向けた投稿要領の変更を行います。
- ・2026 年度は、15 件程度の論文採択を目標とします。一般投稿、風力エネルギー利用シンポジウムでの座長推薦に加え、論文委員会推薦に基づき論文投稿を依頼することを試みます。
- ・論文の質向上、査読スピードの向上を行います。

1.2. 学会設立 50 周年記念行事の検討

- ・学会設立 50 周年（2027 年 11 月）の記念事業の準備（50 周年記念号、日本の風力の 50 年史、シンポジウム（海外からの招待講演を含む）、祝賀会、表彰、記念グッズ、アーカイブなど）を進めます。記念式典は第 49 回風力エネルギー利用シンポジウムでの開催を計画しています。

1.3. 事務局体制の整備・機能の向上

- ・事務局業務の電子化とコストの削減を目的に、昨年度には会員管理システムを導入し入退会・変更・年会費請求をオンライン化いたしました。また、同システムをベースとして代表委員選挙・理事選挙・総会（出欠の確認、委任状の提出、議決権の行使）に係る投票作業をオンライン化しました。本年度は同システムが円滑に利用されるように対応していきます。
- ・各委員会の活動をサポートする立場として下記を検討いたします。
 - ✓ 研究会報告書やシンポジウム動画などのアーカイブ（事業運営委員会、企画運営委員会）
 - ✓ 学会誌の電子版について、冊子版と同時発信する電子ジャーナル化（編集委員会）
 - ✓ 知的財産権とアクセス権（編集委員会、論文委員会）
 - ✓ 学会 SNS の活用（広報委員会）

以 上